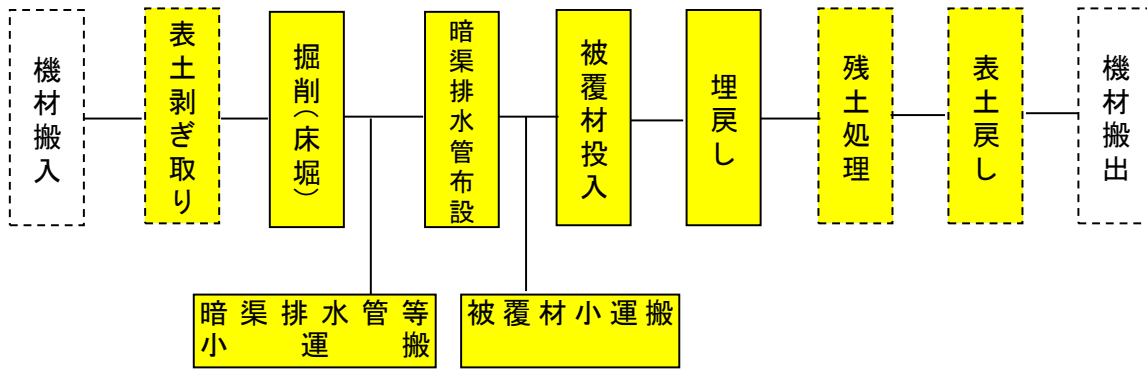
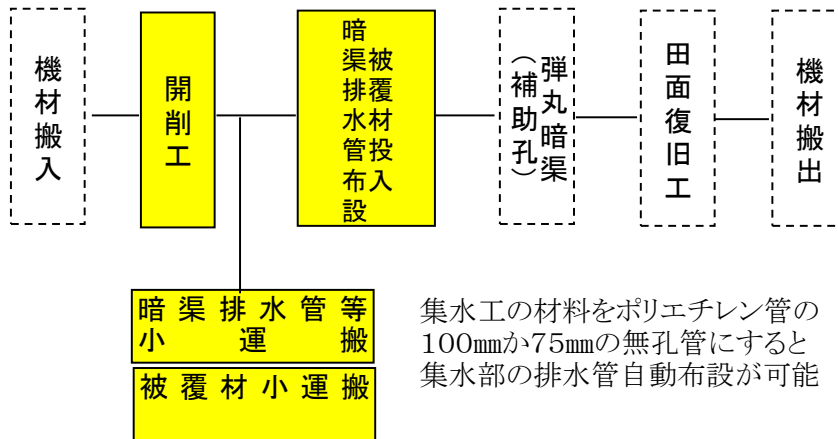


ベストドレーン工法の解説

1 掘り上げて暗渠管を敷設する工法 バックホー及びトレンチャー工法



2 掘り上げずに暗渠管を敷設する工法＝ベストドレーン工法による暗渠排水工(新工法)



集水工の材料をポリエチレン管の100mmか75mmの無孔管にすると集水部の排水管自動布設が可能

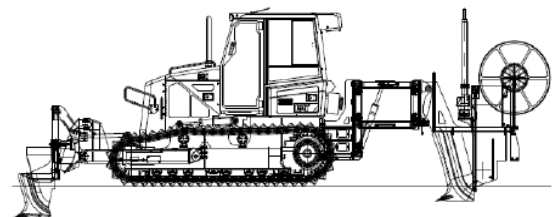
1、ベストドレーン工法＝下層を掘り上げないで任意の深さに暗渠管布設

ベストドレーン機器は ①ブルタイプと②アーム式の2種類ある



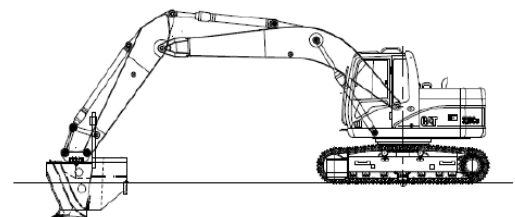
施工精度上下±30mm以内

広域農地施工にはブルタイプ



削孔・管敷設・疎水材投入機

中山間・狭小施工にはアーム式



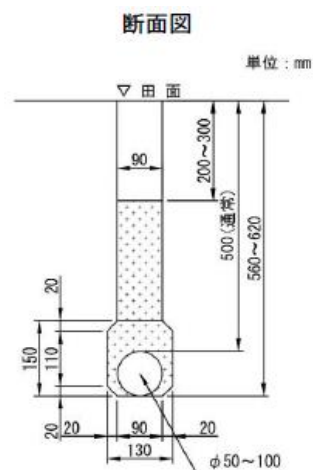
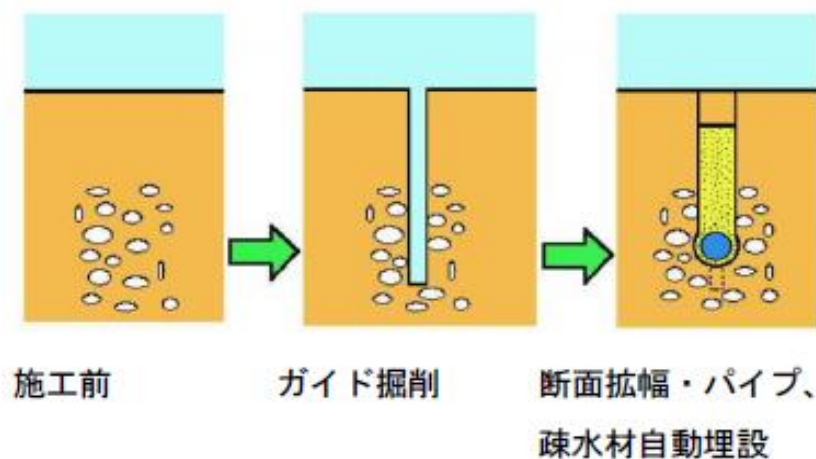
暗渠管敷設及び疎水材投入機

ブルタイプのベストドレーン工法

①開削工(カッター工)状況



②暗渠管+疎水材同時挿入敷設状況



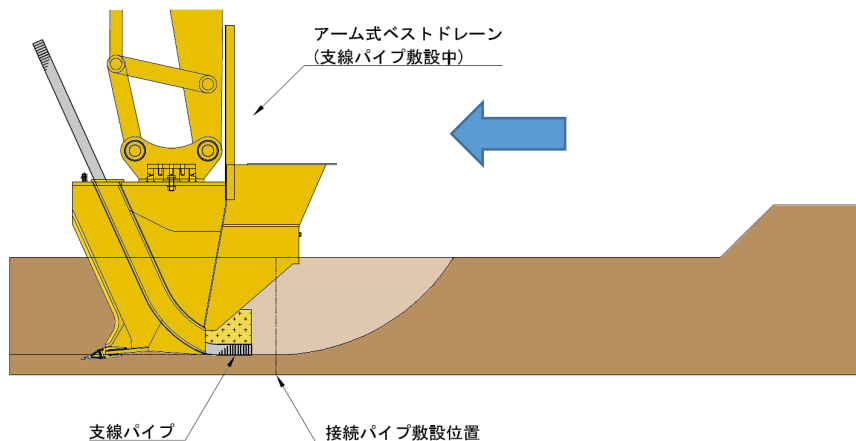
暗渠配管間隔は10m以内

従来暗渠(傾斜暗渠管敷設)もFOEASのフラット暗渠敷設もレーザー角度を変えるだけで任意の深さを設定すれば 上下±30mm以内を施工機がレーザー角度を追従施工

①アーム式の開削工(カッター工)



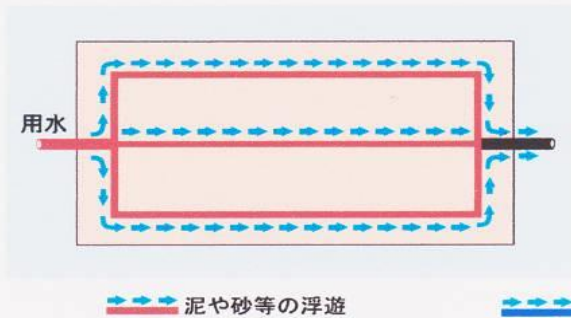
②アーム式の暗渠管+疎水材同時敷設



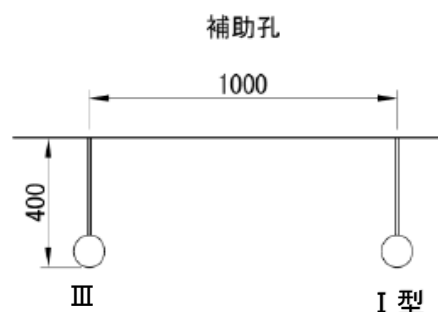
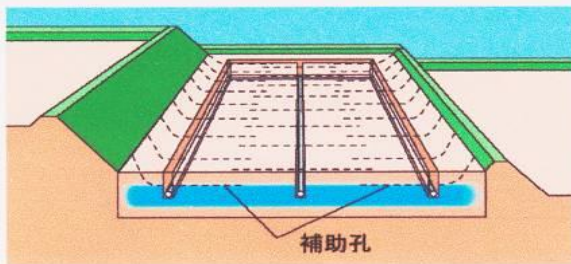
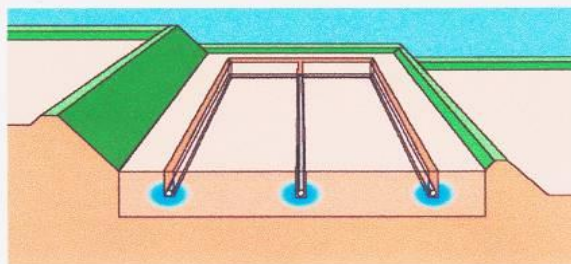
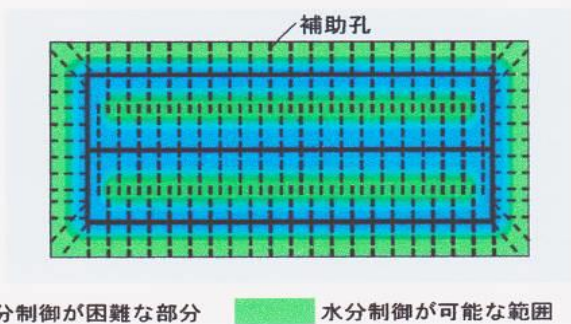
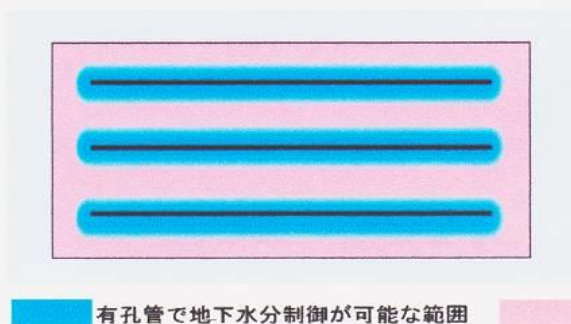
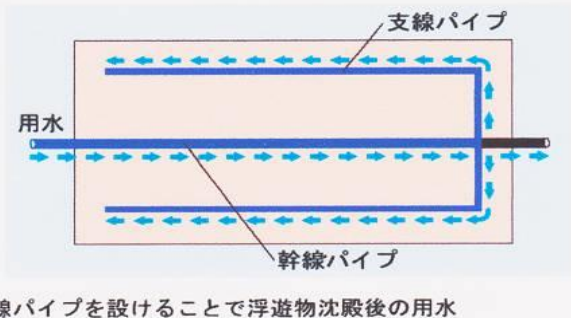
アタッチメントを変えるだけで
ベストドレーン工法に
補助孔工施工に

透水性確保のために補助孔工(特許工法)

一般的な地下灌漑



「FOEAS」



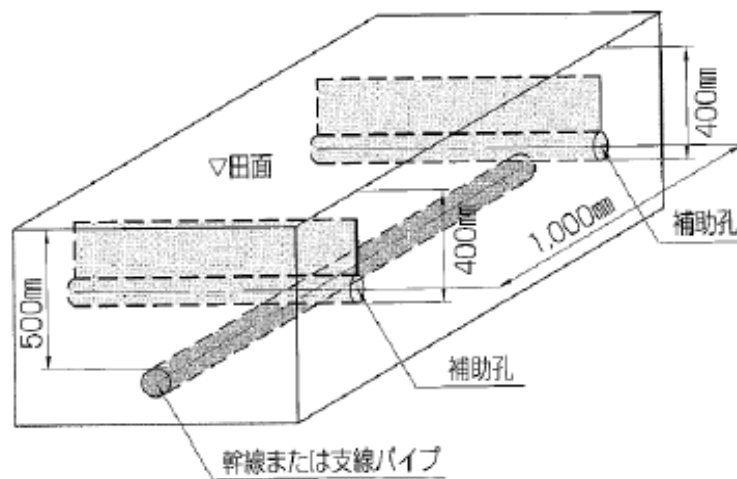


図 1 - 4 暗渠管と補助孔との位置関係図¹⁾

アーム式の補助孔エアタッチメント(特許工法)



ブルタイプの補助孔エアタッチメント(特許工法)



[施工後の断面比較]

